

児童が在校中の「Jアラート」発信時の学校の対応について

(1) 児童が教室にいる場合

- ・ 担任外の教員を1階に配備する。(校庭, 東・西昇降口)
- ・ 窓, カーテンを閉めさせる。
- ・ 机を教室の廊下側に寄せさせる。
- ・ 防災ずきんをかぶり机の下にもぐらせる。
※場所によって近くに頭を保護できる物があればそれを頭に当て, 手をあてて後頭部を保護する体勢を取らせる。
- ・ 危険な方向に(窓等)尻を向ける。

(2) 児童が校庭など校舎外にいる場合

- ・ 担任外の教員を1階に配備する。(校庭, 東・西昇降口)
- ・ 多人数で階段を駆け上がることは二次的な危険を伴うので, 中央通路から保健室, 給食室前に廊下に避難させる。
※北側窓ガラス部分まで行かない。
- ・ 窓や開口部からできる限り離れ, できるだけ姿勢を低くさせる。近くに保護できる物があればそれを当て, なければ手を当てて後頭部を保護する体勢を取らせる。
- ・ 体勢は膝と肘を床に付けさせる。危険な方向(窓等)に尻を向けさせる。

(3) 児童が体育館にいる場合

- ・ 1年2, 3組前廊下に避難させる。
※北側窓ガラス部分まで行かない。
- ・ 窓や開口部からできる限り離れ, できるだけ姿勢を低くさせる。近くに保護できる物があればそれを当て, なければ手を当てて後頭部を保護する態勢を取らせる。
- ・ 体勢は膝と肘を床に付けさせる。危険な方向(窓等)に尻を向けさせる。